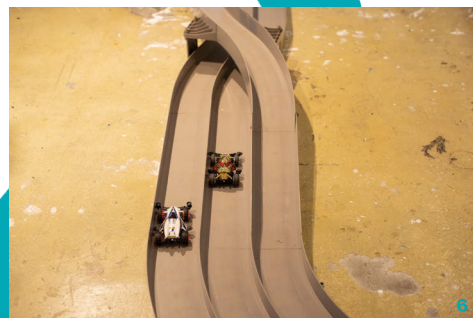
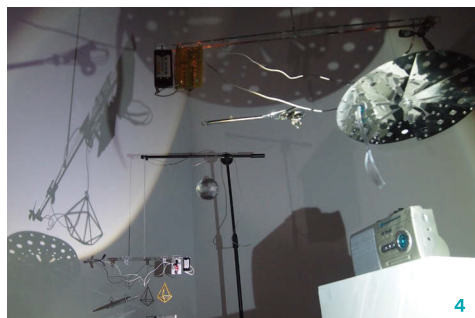
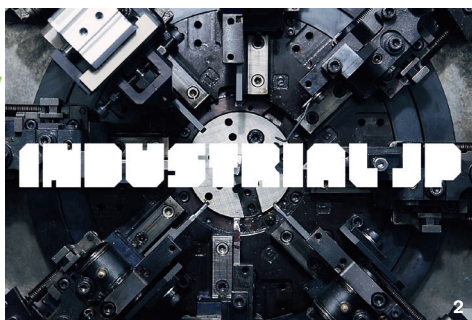


# どうぐをプレイする

夏休み恒例となった、ICCキッズ・プログラムでは、同時代のメディア・アートやメディア環境から発想された作品に触れることで、子どもたちの好奇心と想像力を育むことを目的に、インタラクティブな展示作品や体験型、参加型の作品の展示、ワークショップなどを実施しています。

今年度は、「どうぐをプレイする Tools for Play」と題して、人間の発明やテクノロジーの原点ともなる「道具」をモチーフに、いろいろな目的や用途のために作られた道具を、どのように「プレイする」かによって、さまざまにとらえ直すことをテーマとします。

英語の「プレイ」には、「遊ぶ」、「試合をする」、「ゲームをする」、「演奏する」、「再生する」、「役を演じる」などの意味が含まれています。「どうぐをプレイする Tools for Play」展を通して、道具に対する視点を変えたり、道具をいつもの役割から解放したり、道具の中身をのぞいてみたり、しくみを調べてみたり。ふだん使っている道具から、新しく生み出される道具まで、イマジネーションを広げてみましょう。



## 関連イベント

子どもたちの「もっとよく知りたい」に応えるための

ワークショップやギャラリーツアーなどのイベントを開催予定です。

### ギャラリーツアー

2022年8月6日[土] 午後2時—3時

### 同時開催の展覧会

「ICCアニュアル2022 生命的なものたち」

会期：2022年6月25日[土]—2023年1月15日[日]

会場：NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]

ギャラリーB、ハイパー[CC] (<https://hyper.nttcc.or.jp/>)

休館日：月曜日(月曜日が祝日もしくは振替休日の場合翌日)、

保守点検日(8/7)、年末年始(12/26—1/4)

入場料：一般500円(400円)、大学生400円(300円)/高校生以下無料

ICC年間パスポート：1,000円

※有効期間：購入日(お渡し日)より2023年3月31日まで。

ICCにおいて開催される展覧会に、

年度内に何度でもご入場いただけるパスポートです。



小光《here AND there》Photo: 木奥恵三

### 保護者のみなさまへ

ICCキッズ・プログラムは、ICCの教育普及活動の一環として、例年夏休み期間に開催される展覧会です。新たな気づきや発見を促す展示によって、子どもたちに「体験すること」「作ること」を通じて、現在の私たちが生活する、様々なテクノロジーの原理やしぐみなどへの理解を深めることを目的としています。



最新情報はICCウェブサイト(<https://www.nttcc.or.jp/ja/>)などでお知らせします。

21\_21 DESIGN SIGHT 企画展「デザインの解剖展：身近なものから世界を見る方法」(2016年)  
Photo: 浅川敏

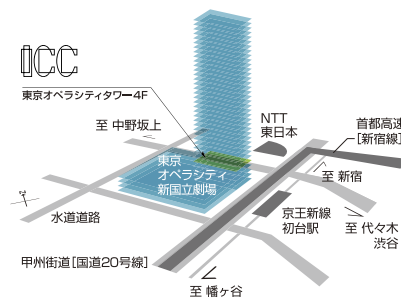
2 INDUSTRIAL JP

3 couch (Nevermore) 2020年

4 すずえり《3つの世界 (Three Worlds)》2018年—  
2018年ALT SPACE LOOP, Seoulでの展示風景

5 宮下恵太《BEAT/BIT》2019年

6 やんツー《遅いミニ四駆》(インスタレーション風景)2022年(参考図版)



NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]

〒163-1404 東京都新宿区西新宿3-20-2

東京オペラシティタワー4階

お問合せ：☎ 0120-144199

URL: <https://www.nttcc.or.jp/ja/>

NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]は、日本の電話事業100周年(1990年)の記念事業として1997年4月19日、東京/西新宿・東京オペラシティタワーにオープンしたNTT東日本の運営する文化施設です。ICCは「コミュニケーション」というテーマを軸に科学技術と芸術文化の対話を促進し、豊かな未来社会を構想していきます。